

市民版

今月から防災関連番組を始めた京都三条ラジオカフェ(京都市中京区)



防災対策の大切さ発信

コミュニティFM「京都三条ラジオカフェ」(京都市中京区)は今月から、地域防災のあり方をテーマにした番組「防災NOW! 京の消防団」を始めた。同局で防災関連番組の放送は初めてで、日ごろの対策の大切さを伝えている。

防災NOW!は、東日本大震災をきっかけに防災意識が高まる中、地域密着型のラジオ局として防災の知識を高め、有事に備えてもらうのが狙い。

番組では、東日本大震災の被災地でも注目された消防団に焦点を当て、日常の活動や地域の特徴、避難所などの場所、災害時の心掛けなどを、主に電話中継で話してもらう。1年目の今年、地元の中京消防団

の23分団のメンバーが出演する。

毎月第2と第4土曜日の午前10時15分から9分間の生放送で、翌日の日曜日午後5時から再放送を行う。ラジオカフェのホームページで放送済みの番組の音声を常時、聞くことができる。今後は、学生の消防サポーターや自主防災組織のメンバーの出演も検討している。

ラジオカフェの松岡千鶴セネラルプロデューサーは「緊急時に役に立つ身近で有益な情報を伝えたい。消防団と地元住民が日ごろから声を掛け合い、いざという時に役立てられる人間関係を築くきっかけにしてほしい」と話している。

(今川敢士)